環境経営レポート

2022度

（対象期間：2021年8月～2022年7月）

発行日：2022年11月1日

金子産業株式会社

目　次

1. 組織の概要　・・・・ ・・・・ ・・・・　1

2. 認証・登録の対象範囲　・・・・ ・・・・ ・・・・　1

3. 環境経営方針　・・・・ ・・・・ ・・・・　2

4. 環境活動の実施体制　・・・・ ・・・・ ・・・・　3

5. 中期環境経営目標　・・・・ ・・・・ ・・・・　4

6. 環境経営計画及び実施状況評価　・・・・　5

7. 短期環境経営目標の実績、
及びその評価と今後の取組内容　・・・・　6

8. 環境関連法規の遵守状況　・・・・ ・・・・　7

9. 代表者による全体の取組状況の評価
及び見直し、指示　・・・・ ・・・・　8

1. 組織の概要

■事業所名　　金子産業株式会社
　　代表者氏名　　代表取締役　金子　勉

■所在地　　本社　　〒863-2171　　熊本県天草市佐伊津町５５２２－１１
　　資材置場倉庫　〒863-2171　　熊本県天草市佐伊津町井手口3815番地1
　　熊本営業所　　〒860-0826　　熊本県熊本市南区平田2丁目20-43

■創業　　昭和　29年　　8月

■事業内容　　土木工事業、建築工事業

■資本金　　2，000万円

■完工高　　6億2千万（令和4年度）

■社員数　　20名

■建設業許可　　熊本県知事　第１１１２号

■登録　　K工房一級建築士事務所　熊本県知事　第２３２９号

■事業年度　　7月決算（8月～7月）

■環境管理責任者　　金子　哲也

■連絡先　　TEL　0969-23-6613
　　FAX　0969-23-6369
　　E-mailアドレス　k.s@kaneko-sangyo.com

2. 認証・登録の対象範囲

■事業活動　　土木工事業・建築工事業

■対象事業所　　本社　　延床面積　407.41㎡
　　資材置場倉庫　延床面積　448㎡
　　熊本営業所　　延床面積　89.07㎡

3. 環境経営方針

金子産業株式会社は地域環境の保全と、その継承の重要性を認識し、地域の人々が安心して快適に生活できる住環境をつくる建設業としての事業活動を通して、環境負荷の低減、持続可能な循環型社会の構築に貢献する企業を目指します。

次の環境経営方針に基づき、自主的・積極的に、環境保全活動に取り組み、環境経営の継続的改善を図りま す。

1. 当社の事業活動に関連する、次の項目を重点項目として継続的に取り組みます。

（1）電力、燃料等のエネルギーの使用による二酸化炭素排出量を削減します。

（2）産業廃棄物排出量を削減すると共に、廃棄物の再資源化を推進します。

（3）節水に努め、水使用量を削減します。

（4）地域貢献活動を推進します。

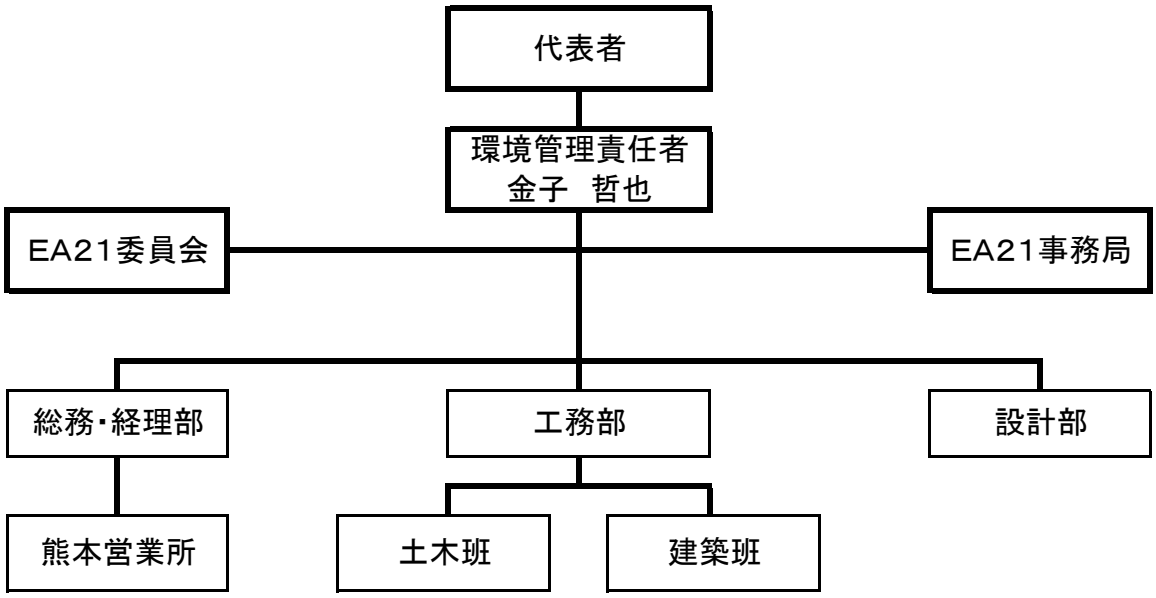
2. 当社の事業に関連する環境関連法規を順守します。

3. 省エネルギー型や省資源型の商品を販売する割合を増やします。

制定日　　2021年　11月　1日

金子産業株式会社
代表取締役　金子　勉

4. 環境活動の実施体制



役割分担表

所　属	役割・責任・権限
代表者	・代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ ・環境経営方針を作成し・見直し、社員に周知する ・環境管理責任者、EA21事務局員を任命する ・環境への取組を実施するための資源（人・もの・金）を承認する ・EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	・EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる ・毎年、環境経営目標、環境経営計画を作成する ・3か月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況を確認・評価する ・上記の結果を代表者に報告する
EA21委員会	・3か月に1回開催し、環境経営目標及び環境経営計画の実施状況を審議する
EA21事務局	・環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う ・社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部門長	・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する ・環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する ・自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する ・自部門に関連する法規制等を順守する ・自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する ・自部門の教育・訓練を実施する
全社員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

5. 中期環境経営目標(2021年～2024年度)

会計年度　期首:8月～期末:7月　活動期間:2021年8月～2022年7月

			実績（基準値）	中期環境経営目標				
			基準年 2020年度	2021年度（1%削減）		2022年度（2%削減）	2023年度（3%削減）	2024年度（4%削減）
				試行期間	年間			
番号	項目	単位	2020年8月～2021年7月	2021年11月～2022年1月	2021年8月～2022年7月	2022年8月～2023年8月	2023年8月～2024年7月	2024年8月～2025年8月
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	74,612	17,887	73,865	73,118	72,373	71,627
1-1	電気使用量の削減	kWh	31,390	7,948	31,075	30,761	30,449	30,136
	①本社　電力	kWh	14,653	3,831	14,506	14,360	14,213	14,067
	②熊本営業所　電力	kWh	1,209	330	1,197	1,185	1,173	1,161
	③熊本営業所　動力	kWh	985	185	975	965	955	946
	④建設現場等　電力	kWh	11,883	2,955	11,764	11,645	11,527	11,408
	⑤倉庫　電力	kWh	2,479	609	2,454	2,429	2,405	2,380
	⑥倉庫　動力	kWh	181	38	179	177	176	174
1-2	ガソリン使用量の削減	ℓ	15,886	3,675	15,727	15,568	15,409	15,251
	⑦ガソリン	ℓ	3,651	1,129	3,614	3,578	3,541	3,505
	⑧建設現場等ガソリン	ℓ	12,235	2,546	12,113	11,990	11,868	11,746
1-3	軽油使用量の削減	ℓ	8,841	2,145	8,753	8,664	8,576	8,487
	⑨建設現場等	ℓ	8,841	2,145	8,753	8,664	8,576	8,487
1-4	灯油使用量の削減	ℓ	551	327	546	540	534	529
	⑩本社	ℓ	463	249	458	454	449	445
	⑪建設現場等	ℓ	88	78	87	86	85	84
1-5	液化石油ガス(LPG)使用量の削減	kg	643	21	636	630	624	617
2-1	一般廃棄物のリサイクル推進	kg	―	実績把握	実績把握	2021年度の1%削減	2021年度の2%削減	2021年度の3%削減
2-2	建設産業廃棄物のリサイクル率の向上	kg	98.2%	98.4%	98.4%	98.6%	99.0%	99.2%
3	水使用量の削減	m3	125	実績把握	実績把握	2021年度の1%削減	2021年度の2%削減	2021年度の3%削減
4	地域貢献活動の推進	回	2	2	2	2	2	2

☆化学物質の使用は無し
☆環境経営の観点から考慮して、産業廃棄物及び一般廃棄物は行動目標とする
☆二酸化炭素排出量
　　＝①電気使用量×0.371＋②ガソリン使用量×2.32＋③軽油使用量×2.58+④灯油使用量×2.49+⑤LPGガス使用量×3.00
※電気のCO_2排出係数
　九州電力㈱の2019年度調整後の排出係数 0.371kg-CO_2/kWh

6. 環境経営計画及び実施状況評価

項　目	具体的な活動	頻度	実施責任者	実施状況評価		
				本社	熊本営業所	現場
1. 二酸化炭素排出量 1-1 電気使用量の削減	①昼休みの消灯	毎日	新川・西岡	○	○	○
	②使用時以外のトイレの消灯	毎日	新川・西岡	○	○	○
	③OA機器、空調機の退社時の電源オフ	毎日	新川・西岡	○	○	△
	④空調機の室内温度設定・実施の徹底	毎日	新川・西岡	○	○	△
	⑤空調機フィルターの定期的清掃	5月	金子哲	○	－	－
	⑥日よけ、ブラインドによる室温上昇防止（夏季）	毎日	新川・西岡	○	○	－
	⑦使用しない設備・機械の電源遮断、プラグ抜き	毎日	新川・西岡	△	○	○
	⑧節電表示の徹底	毎日	新川・西岡	○	○	○
	⑨空調機の使用時季(夏・冬)以外はブレーカーを切る	適時	新川・西岡	○	○	－
1-2 ガソリン使用料の削減	①社用車エコドライブの推進・徹底（アイドリングストップ、経済運転など）	毎日	新川・西岡	○	○	○
	②車両点検の実施（車の状況、タイヤ空気圧チェックなど）	毎日	取扱責任者	○	○	○
	③低燃費車を増やす	将来	金子哲	－	－	－
	④社用車の車両別燃費の把握	毎月	取扱責任者	△	○	△
1-3 軽油使用量の削減	①社用車エコドライブの推進・徹底（アイドリングストップ、経済運転など）	毎日	金子哲	△	－	○
	②重機機械エコドライブの推進・徹底（アイドリングストップ、経済運転など）	毎日	現場責任者	－	－	△
	③車両点検の実施（車の状況、タイヤ空気圧チェックなど）	毎日	現場責任者	△	－	△
	④低燃費車を増やす	将来	金子哲	－	－	－
	⑤低排出ガス対策型機（2011年基準以降）を使用する	将来	現場責任者	－	－	△
	⑥社用車の車両別燃費の把握	適時	現場責任者	△	－	△
1-4 灯油使用量の削減	①エコモード付暖房機を使用する	毎日	金子哲	○	－	△
	②使用時以外の電源オフ	毎日	新川 現場責任者	○	－	△
1-5 液化石油ガス(LPG)使用量の削減	①空調機の室内温度設定・実施の徹底	毎日	新川	○		
	②空調機フィルターの定期的清掃	5月・10月	金子哲	○		
	③節電表示の徹底	毎日	新川	○		
	④空調機の使用時季(夏・冬)以外はブレーカーを切る	適時	新川	△		
	⑤節水の工夫と実施（適量の給湯、出しっ放し防止など）	毎日	新川	○		
2. 廃棄物のリサイクル化と廃棄物排出量と廃棄物排出量の削減（一般・産廃共通）	①廃棄物の分別促進	毎日	金子哲	○	○	○
	②コピー用紙の再利用（裏面の利用）	毎月	新川	○	○	○
	③リサイクル促進（建設副産物リサイクル率100）	毎月	金子哲	－	－	△
	④適切な業者の選定と引渡	適時	金子哲	○	－	○
	⑤マニフェスト伝票の適切な管理	適時	新川	○	－	○
3. 水使用量の削減	①節水ステッカー表示	毎日	新川・西岡	○	○	○
	②節水の工夫と実施（適量の給湯、出しっ放し防止など）	毎日	新川・西岡	○	○	○
4. 地域貢献	①ボランティア活動の実施（道路清掃・地域の草刈・地域活動など）	年2回	金子哲	○	－	○

※実施状況評価基準：　○：出来た　△：改善の余地あり　×：出来なかった

7. 短期環境経営目標の実績、及びその評価と今後の取組内容

取組期間：2021年8月～2022年7月（2022年度）

項　目	2020年8月～2021年7月実績	2021年8月～2022年7月目標値（△1%）	2021年8月～2022年7月実績	達成度	判定	評価及び今後の取組内容
CO2 排出量（kg-CO2）	74,612	73,865	86,477	85%	△	CO2排出量の目標は未達成だった。特に受注工事の特性が大きかったので、意識付けを続けていきたい。
電気使用量（kWh）	31,390	31,075	35,361	88%	△	伝統工法による木材加工作業により倉庫電力が大きく増加した。また、大型仮設事務所の数も増加し、現場電力が増加した。
ガソリン使用量（ℓ）	15,886	15,727	14,874	106%	○	燃費状況の把握を取り入れたため、本社及び現場車両ともにエコドライブの徹底がみられた。次回もエコドライブに努めたい。
軽油使用量（ℓ）	8,841	8,753	13,424	65%	×	災害復旧工事受注のため、工事車両の長距離移動と、重機使用量が増加した。
灯油使用量（ℓ）	551	546	705	77%	×	大型仮設事務所の設置による、暖房器具利用が増加した。エコモード付の機器を取り入れていく。
液化石油ガス（LPG)使用量（kg）	643	636	820	78%	×	熱中症対策のため、冷房使用量が増加。利用量の推移を確認し、器具の省エネ化と利用方法を検討していく。
一般廃棄物のリサイクル（kg）	－	実績把握	実績把握	－	－	今まできちんと把握ができていなかったため、処分量の把握から意識向上を図る。
建設産業廃棄物のリサイクル率の向上（%）	98.2%	98.4%	91.7%	93.2%	△	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ、ガラス陶磁器くず、石綿など再利用ができない廃棄物の発生が増加した。資材置き場の分別効率化を図っていく。
水使用量の削減（m3）	125	実績把握	190	－	－	実績把握を行い、意識付を行っていく。
地域貢献活動の推進（回）	2	2	2	100%	○	目標は達成できた。今後も推進していく。

判定基準について・・・◯：100%以上　△：80%以上、100%未満　×：80%未満（是正の対象）

8. 環境関連法規の遵守状況

遵守評価の結果、環境法規の違反はありません。なお、関連機関からの指導や訴訟もありません。

環境法規制登録表（遵守評価表）

評価者：環境管理責任者　金子　哲也　　遵守評価日：令和4年7月31日

法規制等	適用内容	対象設備、施設	届出	遵守事項（法規制/自主規制）	頻度等	記録	遵守評価	コメント
廃棄物処理法	産業廃棄物の保管	産業廃棄物置場	―	（法規制） 1.表示板の設置	更新時	（表示板）	○	
				（自主規制） 1.清掃、漏洩防止	1回/週 （確認）	―	○	飛散対策ネットが使用でき改善した
	委託契約書	委託業者	―	（法規制） 1.委託契約書締結 2.契約書の保管（5年間）	契約時	委託契約書	○	問題なし
	マニフェスト伝票管理	委託業者	―	（法規制） 1.マニュフェストの発行 2.マニフェストの管理と保管（5年間）	処理委託時発行後	マニュフェスト伝票	○	問題なし
	産業廃棄物の運搬	運搬作業	―	（法規制） 1.産業廃棄物運搬の表示 2.マニフェスト伝票の携帯	運搬時 運搬時		○	問題なし
	産業廃棄物管理票交付等状況報告	産業廃棄物		（法規制） 1.マニフェスト伝票の集計 （4月～翌年3月の1年分） 2.マニフェスト伝票の携帯 （同年4月～6月に届出）	1回／年 1回／年	産業廃棄物管理票交付等 状況報告書	○	問題なし
建設リサイクル法	建設工事に係る資材の再資源化の促進	・解体工事 80 ㎡以上 ・新築・増築工事 500 ㎡以上 ・修繕・模様替工事　1 億円以上 ・その他の工作物に関する工事（土木工事等）500 万円以上	○	（法規制） 1.発注者への書面による計画等説明・工事着手する日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届出、発注者へ書面による完了報告 2.分別解体等 3.再資源化等の促進 4.再生資源の使用	対象工事実施時	施工計画書	○	計画段階では問題なし 地中埋設物等が発生した際の、発注者との協議を円滑にする必要あり
フロン排出抑制法	業務用エアコンの廃棄 （フロン使用）	業務用エアコン室外機 業務用エアコン エアコン付重機 （フロン使用）	―	（法規制） 1.定期点検の実施（3ヶ月毎） 2.廃棄時の適正処理（発生時のみ） 処理委託書提出、処理報告書の受理	適時 （3ヶ月毎） 廃棄時	点検表 領収書、業者報告書等	○	定期点検の実施済み
騒音規制法	工事における騒音規制の遵守	杭打ち機、ﾌﾞﾚｰｶｰ、空気圧縮機等を使用する作業	○	（法規制） 1.規制基準に従った施工方法の実施 2.知事へ7 日前までに届出	対象工事実施時	施工計画書	○	問題なし
振動規制法	工事における振動規制の遵守	杭打ち機、杭抜き機、ﾌﾞﾚｰｶｰ、舗装版破砕機を使用する作業	○	（法規制） 1.規制基準に従った施工方法の実施 2.知事へ7 日前までに届出	対象工事実施時	施工計画書	○	問題なし
家電リサイクル法	特定家庭用機器のリサイクルを推進	エアコン・テレビ・冷蔵庫・冷凍庫・洗濯機・衣類乾燥機	―	（法規制） 1.小売店への引渡し方法の確認 2.自治体指定の回収品目の確認			○	問題なし
リサイクル法	PCの廃棄処理	PC	―	（法規制） 1.メーカーに送付			○	問題なし

9. 代表者による全体の取組状況の評価及び見直し・指示

1．全体の評価

報告者：環境管理責任者　金子　哲也

No.	評 価 事 項	評価結果（指摘事項）	改 善 内 容	期 限	改善責任者
1	環境関連法規等の遵守状況	特に問題無し	労働安全衛生法が変わり、石綿障害予防規則及び大気汚染防止法に基づく石綿事前調査報告の義務を共有する	R5.3.31	環境管理責任者
2	環境経営目標の達成度 活動の進捗状況等の確認 ①二酸化炭素排出量の削減 ②廃棄物リサイクル率の向上 ③水使用量の削減 ④地域貢献活動の推進	CO2排出量は、軽油、灯油、LPGガス使用量について目標に達成しなかった。 ・本社、熊本営業所は意識づけによる削減効果はあった。	現場の特性と、感染症対策による使用量の増加が主な原因であった。運用開始取組みを始めたばかりなので、チェックリストを使い、意識付けを継続して行う。	R5.7.31	環境管理責任者
3	外部からの苦情や要望対応状況	無し	―	―	―
4	前回の代表者の指示事項への対応	初年度につき、無し	―	―	―
5	その他指示事項	特に無し	―	―	―

2．全体の評価と見直し

代表取締役　金子　勉

環境保全には従来より関心を持って取り組んできたが、数字化された環境負荷には驚きの結果だった。初めての数字化に対応を検討し、これをスタートとして環境目標を設定し、社員教育を徹底したい。産業廃棄物については分別を細分化すると共に、仕分け作業の効率化に取り組み、リサイクルに努めていきたい。

見直し事項

No.	環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑの見直し事項	見直し結果	改 善 内 容	期 限	改善責任者
1	環境経営方針の変更の必要性	運用開始初年度にあたるため、変更の必要性なし	特に無し	―	―
2	環境経営目標、環境経営計画の変更の必要性	運用開始初年度にあたるため、年間の数字を確認し、今後の見直しを検討	特に無し	―	―
3	実施体制	運用開始初年度にあたるため、変更の必要性なし	特に無し	―	―
4	その他	特に無し	―	―	―